

参加者の感想

- 保育園で子どもたちと水遊びなどをし、自分も楽しみながら接し方を学べました
- 高齢者施設で普段接することの少ない高齢者と交流でき、介護などを経験できてよかったです
- 相手に感謝されることで、自分でも人の力になることができると実感できました

最初から本格的に活動を始め、ことに不安を感じる人のために、7月〜9月に「夏のボランティア体験プログラム」を実施しています。シニア世代だけでなく、夏休み中の学生も毎年多く参加します。1日だけの参加も可能です。受け入れ先は保育園や高齢者施設など福祉施設のほか、地域で住民同士の支え合い活動をする地区福祉委員会のサロンなどもあります。



ボランティア体験をする高校生

学生からシニア世代まで  
まずは体験を



伝えよう つながろう 地域の力 ボランティア編

# ボランティア 始めてみませんか



問福祉総務課(TEL6384・1815 FAX6368・7348)か  
吹田市社会福祉協議会(TEL6339・1205)

新しい世界が待っている

近年、大規模災害時のニーズなどで目にするのが多くなったボランティア活動。内閣府の調査では、59%を超える人が「ボランティア活動に関心がある」と答えています。(平成28年度報告)

吹田市社会福祉協議会のボランティアセンターでは、活動を始めたい人の支援を行っています。興味があることや、ライフスタイルに合った活動の紹介を行うほか、ボランティアについて基礎から学びたい人向けの入門講座や傾聴ボランティアといった特定の分野について学ぶ養成講座など、各種講座も実施しています。

興味のある人は思いきって活動を始めませんか。新しい世界が広がるかも知れません。

- ボランティアセンターの主な役割**
- 相談** ボランティアの仲介役として「お手伝いをお願いしたい人」と「活動したい人」をつなげ、お互いが安心して取り組めるように支援。
  - 講座・研修会** 活動する人の養成や学びの場を提供。
  - 情報発信・啓発** 広報紙「すいた社協だより」(年4回発行)やブログなどで情報発信。
  - ボランティア保険の窓口** 安心して活動するための保険の受け付け。

## 自分の趣味や特技が 人の役に立つ 特技ボランティア

趣味や特技を生かした活動を行ってもらおうと、ボランティアセンターでは特技ボランティア養成講座を開催しています。これまで、「将棋」「ものづくり」の講座を開催し、受講者の多くがその後の活動に生かしています。



特技ボランティア養成講座  
「ものづくり」を受講  
すいたおもちゃ病院  
小山典幸さん

仕事を退職後、何か人の役に立つことをしたいと思い、昨年、社会福祉協議会ボランティアセンターへ相談に行きました。子どもたちのおもちゃを修理するボランティアを紹介してもらい、参加することになりました。しかし、ものづくりや修理作業はこれまでほとんど経験がなかったので、特技ボランティア養成講座の「ものづくり」編を受講して簡単な技術を学びました。今は、ボランティアの先輩たちから修理方法を教えてもらいながら活動しています。ものづく

りが好きな人にはぴったりなボランティアだと思っています。

活動して一番うれいのは、自分が修理したおもちゃを受け取った子どもが喜んでくれる瞬間ですね。子どもたちの笑顔と「ありがとう」という言葉を糧に、これから活動も続けていきます。



## 地域のつながりを支える「地域ふくし協力金」

みなさんの協力をお願いします

地域ふくし協力金は、ボランティアセンターを含めた社会福祉協議会の事業運営や、子育てサロンなど各地区の福祉委員会が取り組む地域の支え合い活動に役立てられます。

同協力金は、自治会を通して寄付できるほか、口座振り込みもできます。

振込口座：ゆうちょ銀行(郵便局)  
口座(記号)番号：00990-2-72751  
名義：社会福祉法人  
吹田市社会福祉協議会



同協力金のページ

市民公益活動センター・ラコルタ(TEL6155・3167 FAX6833・9851)でも、ボランティアに関する相談や講座の開催など活動の円滑に行うための支援を行っています。



吹田市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
玉山さん  
肩の力を抜いて参加を



ボランティア活動といえば慈善、奉仕といった少し堅苦しいイメージを持っている人もいるかもしれませんが、センターに集まるボランティアは、自分自身が楽しいから活動が続いているとおっしゃる方が多いです。

あまり堅苦しく考え過ぎず、肩の力を抜いて参加いただくことが活動のこつのような気がします。